定例記者発表次第

日時/令和3年4月16日(金) 10時30分~ 会場/矢板市役所 第一委員会室

- 1 開会
- 2 記者発表案件
- (1)「防災重点ため池」のハザードマップの公表について(農林課)
- (2) 矢板市文化体育複合施設整備基本計画の概要について(国体・スポーツ局)
- 3 資料提供
- (1) 令和3年度「はたちのつどい」の開催について(生涯学習課)
- (2) 国体開催記念イベント「栃木ゴールデンブレーブス野球教室」の開催について (国体・スポーツ局)
- (3) スーパーキックベースボール大会 2 0 2 1 ~ 矢板市ニュースポーツ交流会 ~ の開催について(国体・スポーツ局)
- 4 質疑応答
- 5 その他
- 6 閉会

令和3年4月16日(金)発表・提供

件 名

「防災重点ため池」のハザードマップの公表について

農業用ため池が万が一決壊した場合に備えとして「*防災重点ため池」のハザードマップが完成しましたので公表します。

1 経緯

平成30年の西日本豪雨において、農業用ため池が決壊し、多大な被害が発生したことを受け、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が令和元年7月に施行されました。これにより、県と市の協議で「*防災重点ため池」を選定し、国の補助を受けて「*防災重点ため池」のハザードマップを作成することになりました。

2 本市の農業用ため池の現状

南部地域を中心に24箇所の農業用ため池があり、うち、「*防災重点ため池」に 選定されたのは8箇所です。

3 作成したハザードマップ

令和元年度 上堂溜(石関地区)

令和2年度 町戸溜・笹戸溜(石関地区)

新溜 (玉田地区)

ネッコ溜 (玉田地区)

中沼溜・抜け土溜(越畑地区)

弁天溜 (安沢地区)

計6地区(8箇所)

4 掲載内容

集中豪雨・地震等により堤体が決壊し、貯留水が流れ出したときの最も被害が大きい浸水想定区域をマップに反映しました。

- ・最大浸水深のマップ(浸水想定区域や到達時間)
- ・歩行困難度のマップ
- ・ 避難に関する情報 (避難情報の警戒レベルや防災気象情報)
- · 避難場所、関係機関

など

5 今後の予定

市民への周知

- ・浸水想定区域内の住民にハザードマップを配布
- ・市ホームページにハザードマップを掲載

ハザードマップの活用

- ・「*防災重点ため池」のハザードマップの公表を契機に、安全な避難ルートの 検討を促し、防災意識の醸成を図ります。
- ※決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与える恐れが あるため池

※提供資料の有無: 有 (別添のとおり)・無

担当	当課・	担当	名	農林課 整備振興担当		
担	当	者	名	町井 慎太郎		
電	話	番	号	4 3 - 6 2 1 0	内線電話番号	4 0 8



ため池の決壊

ため池決壊の要因

■大雨のとき





台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上 昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、 亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険 性が高まります。また、流木などがため池の洪 水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、 堤防から越水してしまいます。

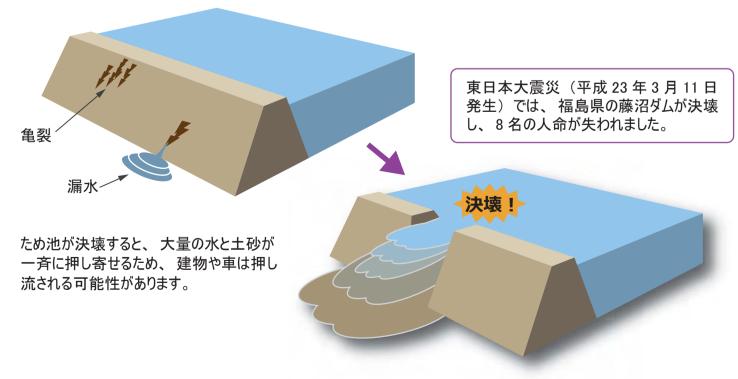
堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食さ れ、決壊に至る危険性がさらに増加します。

■地震のとき





大地震が発生すると、堤防は異常な力を受 けて亀裂や沈下が発生します。 地震によって堤防の強度も低下しているため、 水圧に耐えきれずに決壊することがあります。 大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷し ている場合には、その後の余震で決壊すること もあり得るので注意が必要です。



✓ ハザードマップの作成条件

ため池が満水状態のときを想定しており、貯められている水が決壊 によって一気に流れ出す状況を想定しています。

決壊によって流れ出す水がなくなるまで、時系列のシミュレーションを 実施しており、地図面の想定される浸水深は、時々刻々と流れ込 む水の最大の水深を示しています。



避難に関する情報

各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは 限りません。状況が急変することもあります。

避難情報等

警戒レベル

早期注意情報

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル

洪水注意報 大雨注意報等

避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。

4 警戒レベル

避難準備・高齢者等避難開始

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、 障害のある方、乳幼児等) とその支 援者は避難をしましょう。その他の人は、 避難の準備を整えましょう。

警戒レベル

等は避難

避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて促す場合等に発令

速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と 思われる場合は、近くの安全な場所 や自宅内のより安全な場所に避難し ましょう。

警戒レベル

災害発生情報

災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令

・既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりま しょう。

T E L: 0287-43-6210

矢板市 市民生活部 くらし安全環境課 TEL: 0287-43-1114

【ため池決壊に関する問い合わせ先】 矢板市 経済建設部 農林課

情報収集 と 情報伝達

✓ インターネットを利用した情報収集

気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
宇都宮気象庁	http://www.jma-net.go.jp/utsunomiya/index.html
栃木県 HP	リアルタイム雨量河川水位観測情報
WANK III	とちぎ土砂災害警戒情報 http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya_keikai/
国土交通省	防災情報災害センター
	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
矢板市 HP	http://www.city.yaita.tochigi.jp

☑ 情報伝達の経路



❷ 矢板市メール配信サービス

登録いただきますと、気象等の緊急に関する情報が防災行政無線の放送と同時にお手持ちの 携帯電話やパソコンにメールで配信されます。

※登録方法

① regist@mobile.city.yaita.tochigi.jp に何も書かずメールを送って下さい。

② 送信直後にメールが届きます。表示されるアドレスに接続して、登録作業をしてください。 ※携帯電話でメールを送っても返信メールが届かないときは、迷惑メールの設定などが影響 している可能性があります。受信設定を確認するか、携帯電話各社の窓口で確認してくだ さい。(mobile.city.yaita.tochigi.jp からメールが受信できるようにしてください。)

※防災行政無線の放送内容は電話で確認できます。

43-5151に電話してください。

放送後24時間まで自動音声にて確認することができます。



水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、 国や都道県が出す防災気象情報を、5段階に整理しました。

> これらは、住民が自主的に避 難行動をとるために参考とする 情報です。



警戒レベル相当情報(

(国土交通省、 気象庁、 都道府県が発表)

▲ 警戒レベル3相当情報

- · 氾濫警戒情報
- 洪水警報

🛕 🛕 警戒レベル 4 相当情報

等

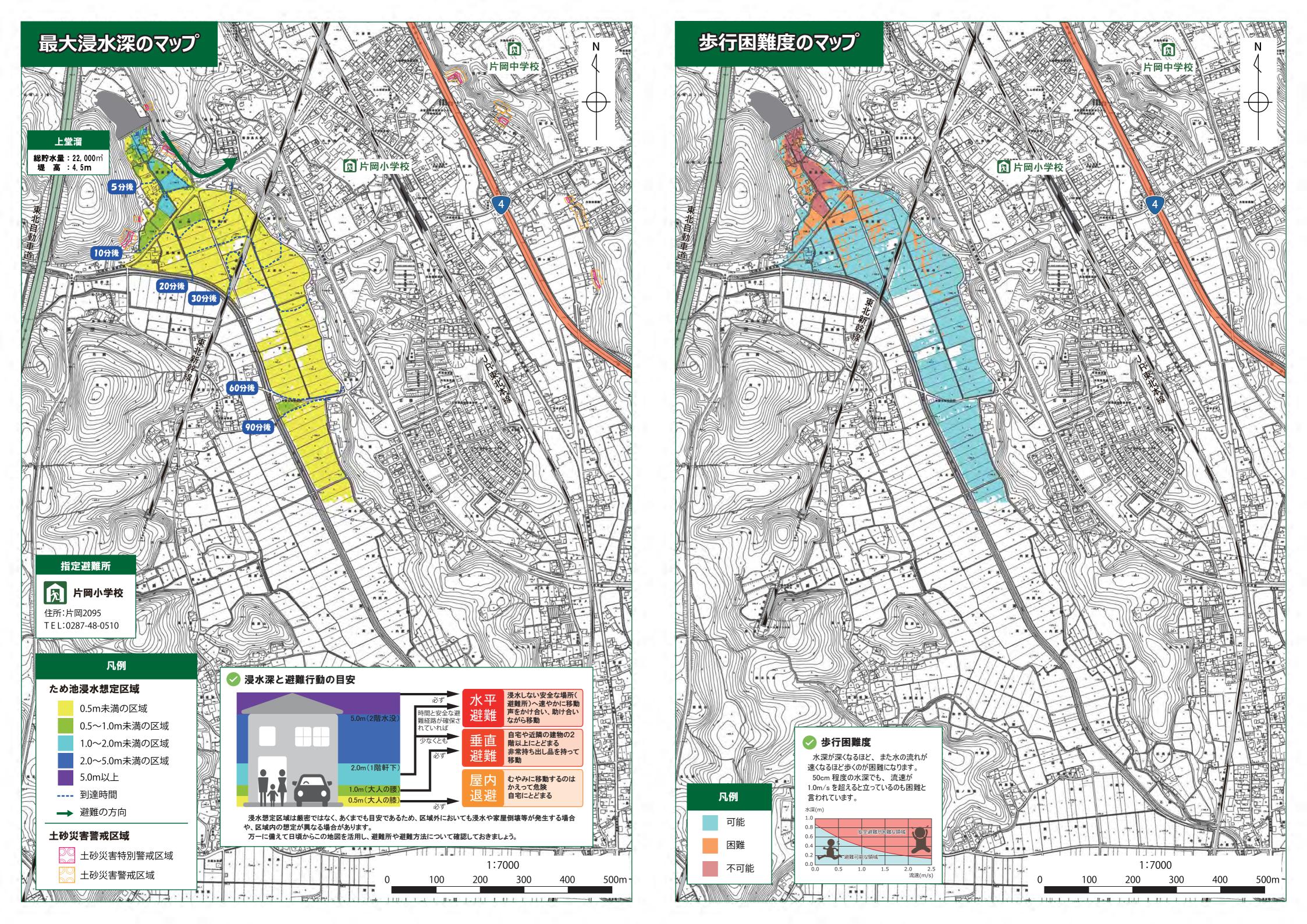
- 氾濫危険情報
- 土砂災害警戒情報 等

⚠️ 警戒レベル5相当情報

- 氾濫発生情報
- 大雨特別警報

【土砂災害に関する問い合わせ先】

危険性





分矢板市 **等**

ため池の決壊

☑ため池決壊の要因

■大雨のとき





台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上 昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、 亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険 性が高まります。また、流木などがため池の洪 水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、 堤防から越水してしまいます。

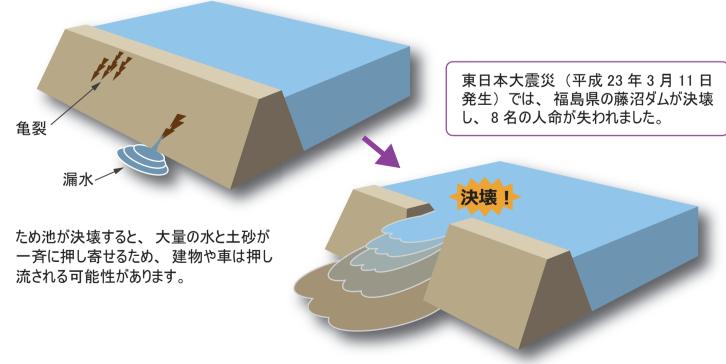
堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食さ れ、決壊に至る危険性がさらに増加します。

■地震のとき





大地震が発生すると、堤防は異常な力を受 けて亀裂や沈下が発生します。 地震によって堤防の強度も低下しているため、 水圧に耐えきれずに決壊することがあります。 大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷し ている場合には、その後の余震で決壊すること もあり得るので注意が必要です。



✓ ハザードマップの作成条件

ため池が満水状態のときを想定しており、貯められている水が決壊 によって一気に流れ出す状況を想定しています。

決壊によって流れ出す水がなくなるまで、 時系列のシミュレーションを 実施しており、地図面の想定される浸水深は、時々刻々と流れ込 む水の最大の水深を示しています。



避難に関する情報

各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは 限りません。状況が急変することもあります。

避難情報等

早期注意情報

警戒レベル

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル

洪水注意報 大雨注意報等

避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル

高齢者

等は避難

避難準備・高齢者等避難開始

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、 障害のある方、乳幼児等) とその支 援者は避難をしましょう。その他の人は、 避難の準備を整えましょう。

警戒レベル

避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて促す場合等に発令

速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と 思われる場合は、近くの安全な場所 や自宅内のより安全な場所に避難し ましょう。

警戒レベル

災害発生情報

災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令

・既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりま しょう。

【ため池決壊に関する問い合わせ先】 矢板市 経済建設部 農林課 T E L: 0287-43-6210

☑ 防災気象情報

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、

国や都道県が出す防災気象情報を、5段階に整理しました。

これらは、住民が自主的に避 難行動をとるために参考とする 情報です。



警戒レベル相当情報(例

(国土交通省、 気象庁、 都道府県が発表)

▲ 警戒レベル3相当情報

- 氾濫警戒情報

危険性

- 洪水警報

🛕 🛕 警戒レベル 4 相当情報

等

- · 氾濫危険情報
- 土砂災害警戒情報 等

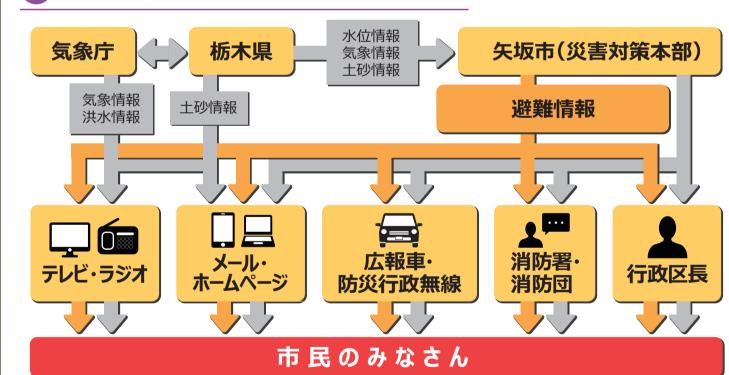
⚠️ 警戒レベル5相当情報

- 氾濫発生情報
- 大雨特別警報

【土砂災害に関する問い合わせ先】 矢板市 市民生活部 くらし安全環境課 T E L: 0287-43-1114

情報伝達 と 情報収集

🕜 情報伝達の経路



🕜 情報収集

テレビで情報確認

テレビの d ボタンの使い方





①リモコンのdボタンを押す ②「防災・生活情報」を選択する

矢坂市メール配信サービス

災害時に矢坂市から避難情報等を 配信します

登録方法

2次元コードを読み取り、空メール Fregist@mobile.city.yaita.tochigi.jp J を送信



インターネットで調べる

気象庁

気象注意報・警報・特別警報、短 時間大雨予報、洪水警

報の危険度分布、台風 情報、地震情報など

気象庁 注意報



川の防災

カメラ画像、河川の観測水位、 水位予測など

川の防災情報



Qr

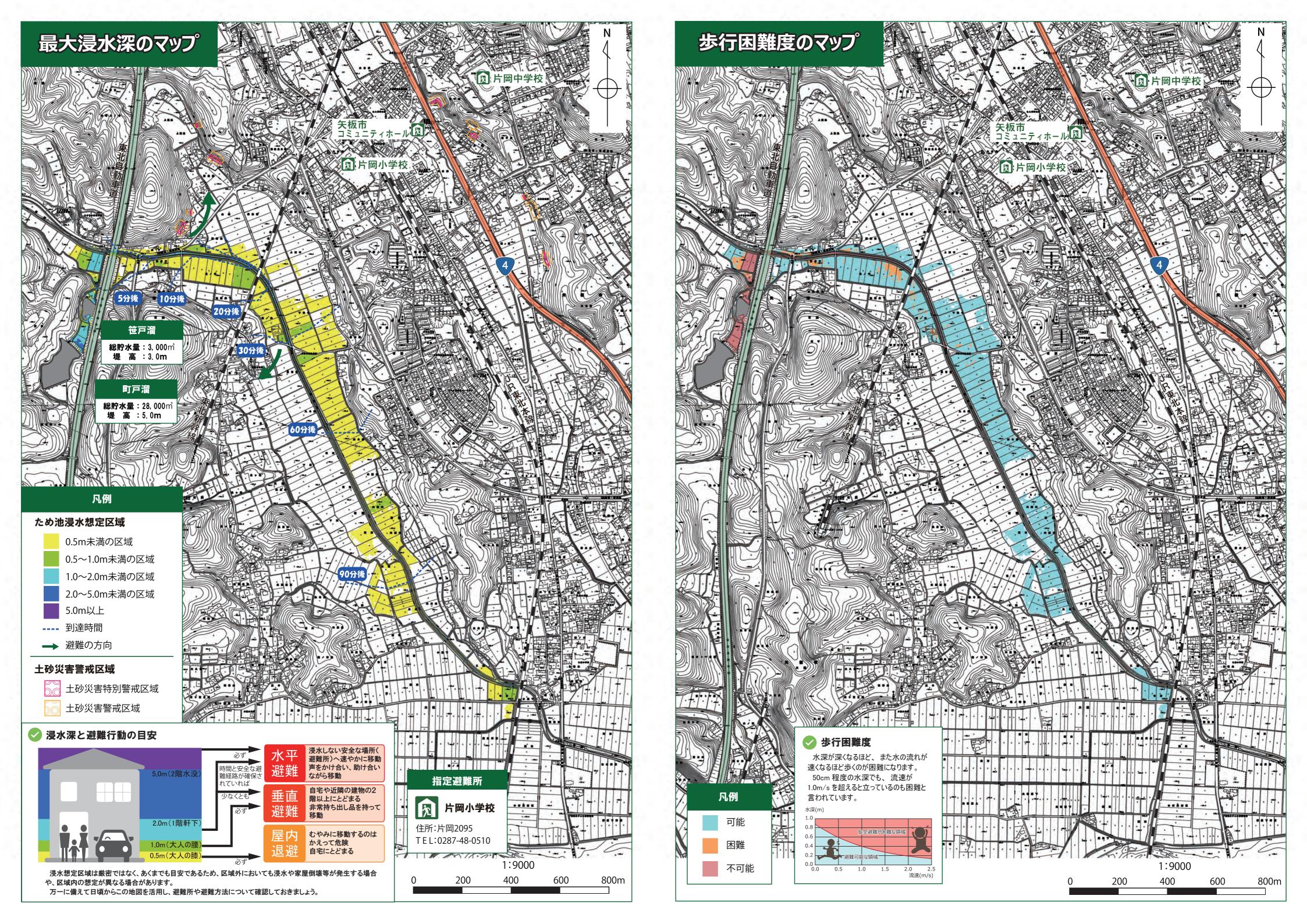
防災情報提供センタ-

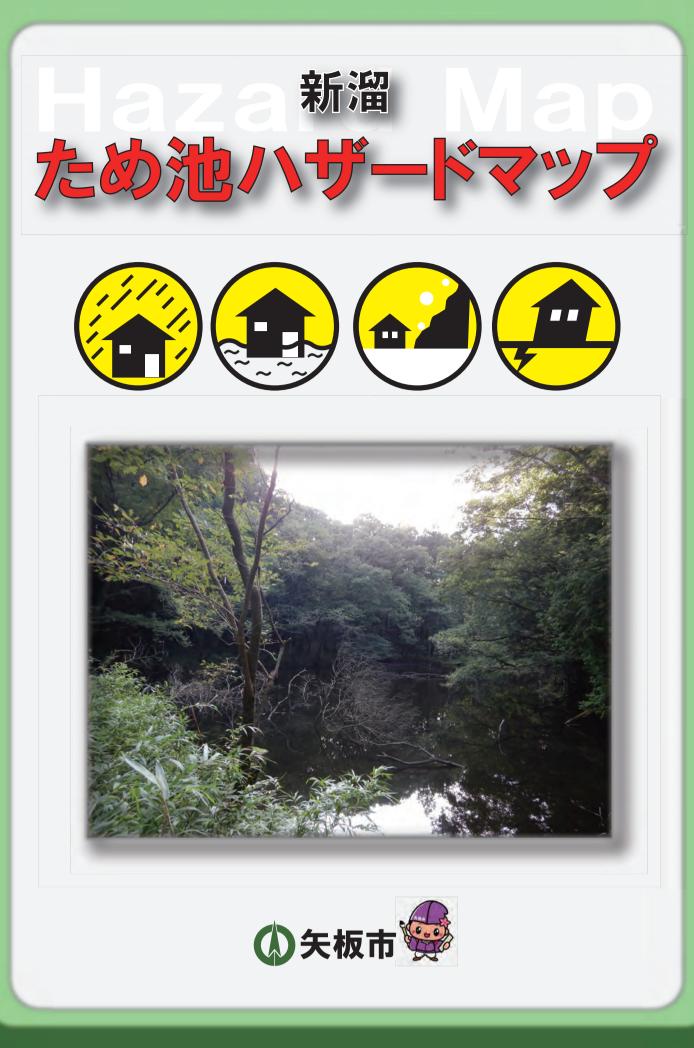
リアルタイム雨量、リアルタイム レーダーなど



Qr

防災情報提供





ため池の決壊

☑ため池決壊の要因

■大雨のとき





台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上 昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、 亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険 性が高まります。また、流木などがため池の洪 水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、 堤防から越水してしまいます。

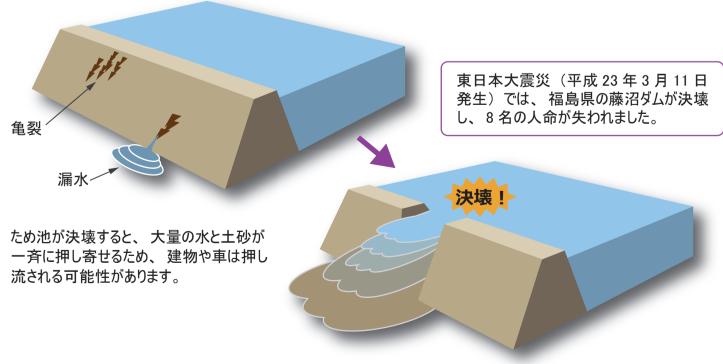
堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食さ れ、決壊に至る危険性がさらに増加します。

■地震のとき





大地震が発生すると、堤防は異常な力を受 けて亀裂や沈下が発生します。 地震によって堤防の強度も低下しているため、 水圧に耐えきれずに決壊することがあります。 大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷し ている場合には、その後の余震で決壊すること もあり得るので注意が必要です。



✓ ハザードマップの作成条件

ため池が満水状態のときを想定しており、貯められている水が決壊 によって一気に流れ出す状況を想定しています。

決壊によって流れ出す水がなくなるまで、 時系列のシミュレーションを 実施しており、地図面の想定される浸水深は、時々刻々と流れ込 む水の最大の水深を示しています。



避難に関する情報

各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは 限りません。状況が急変することもあります。

避難情報等

早期注意情報

警戒レベル

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル

洪水注意報 大雨注意報等

避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル

避難準備・高齢者等避難開始

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、 障害のある方、乳幼児等) とその支 援者は避難をしましょう。その他の人は、 避難の準備を整えましょう。

警戒レベル

等は避難

避難勧告 避難指示 (緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて促す場合等に発令

速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と 思われる場合は、近くの安全な場所 や自宅内のより安全な場所に避難し ましょう。

警戒レベル

災害発生情報

災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令

・既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりま しょう。

【ため池決壊に関する問い合わせ先】 矢板市 経済建設部 農林課 T E L: 0287-43-6210

☑ 防災気象情報

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、 国や都道県が出す防災気象情報を、5段階に整理しました。

> これらは、住民が自主的に避 難行動をとるために参考とする 情報です。



警戒レベル相当情報(例

(国土交通省、 気象庁、 都道府県が発表)

▲ 警戒レベル 3 相当情報

- 氾濫警戒情報

危険性

- 洪水警報

🛕 🛕 警戒レベル 4 相当情報

等

- · 氾濫危険情報
- 土砂災害警戒情報 等

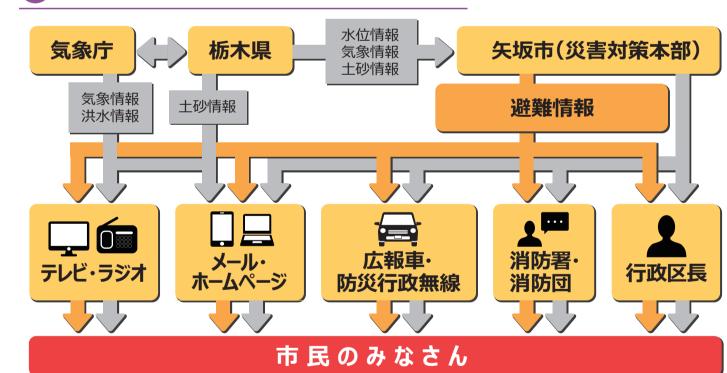
⚠️ 警戒レベル5相当情報

- 氾濫発生情報
- 大雨特別警報

【土砂災害に関する問い合わせ先】 矢板市 市民生活部 くらし安全環境課 T E L: 0287-43-1114

情報伝達 と 情報収集

🕜 情報伝達の経路



🕜 情報収集

テレビで情報確認

テレビの d ボタンの使い方



災害情報が 確認できます

①リモコンのdボタンを押す ②「防災・生活情報」を選択する

矢坂市メール配信サービス

災害時に矢坂市から避難情報等を 配信します

登録方法

2次元コードを読み取り、空メール Fregist@mobile.city.yaita.tochigi.jp J を送信



インターネットで調べる

気象庁

気象注意報・警報・特別警報、短 時間大雨予報、洪水警 報の危険度分布、台風

情報、地震情報など 気象庁 注意報 Q,

カメラ画像、河川の観測水位、

水位予測など

川の防災情報



防災情報提供センタ-

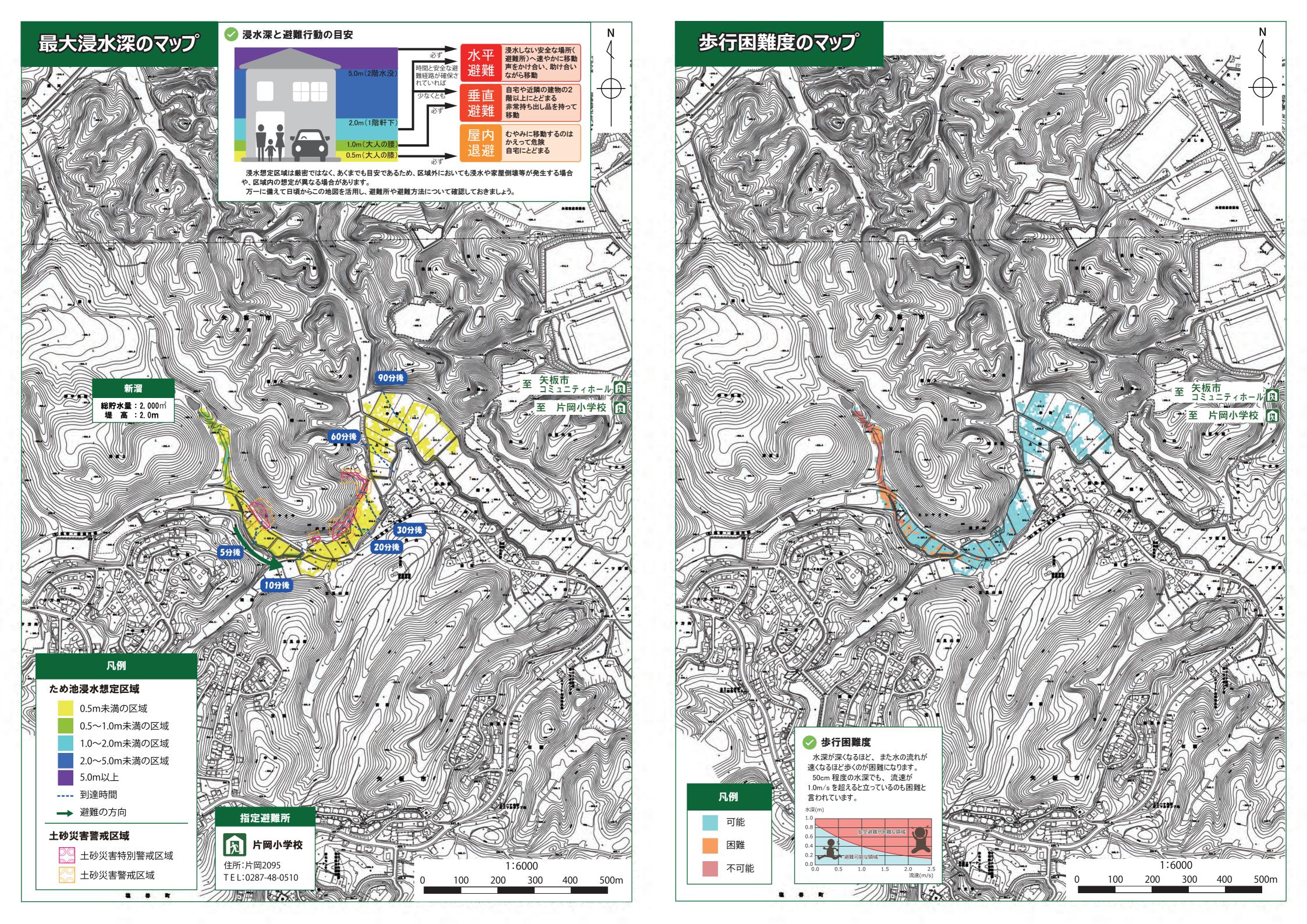
リアルタイム雨量、リアルタイム レーダーなど

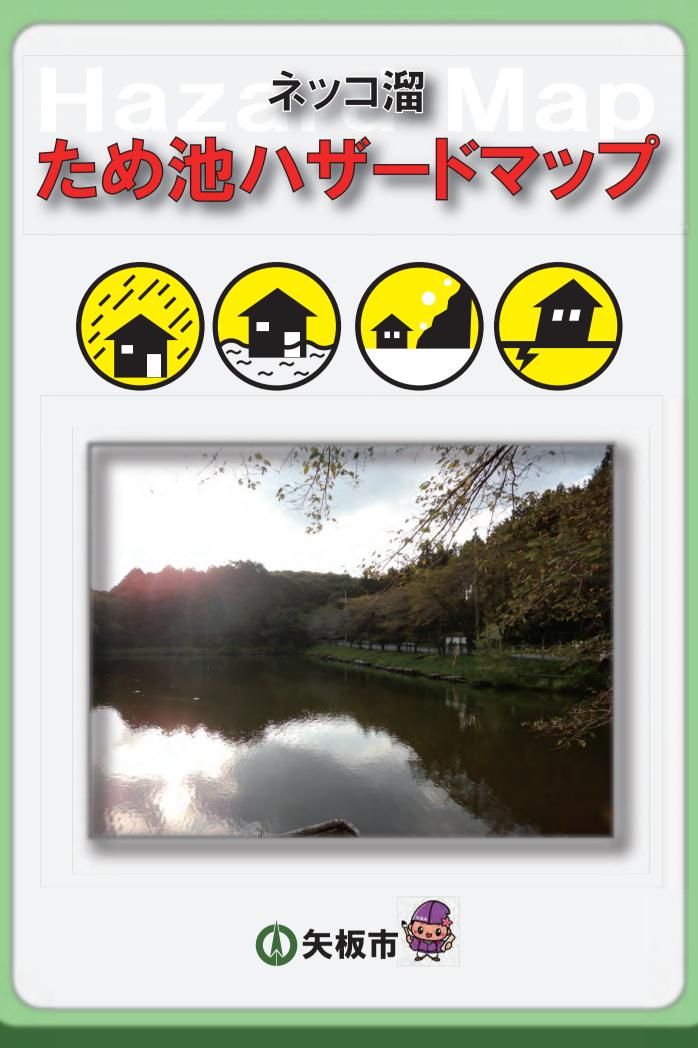


防災情報提供

Qr 川の防災

Qr





☑ため池決壊の要因

ため池の決壊

■大雨のとき





台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上 昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、 亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険 性が高まります。また、流木などがため池の洪 水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、 堤防から越水してしまいます。

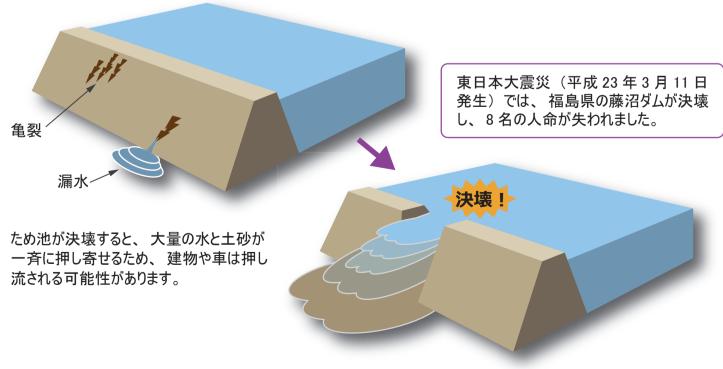
堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食さ れ、決壊に至る危険性がさらに増加します。

■地震のとき





大地震が発生すると、堤防は異常な力を受 けて亀裂や沈下が発生します。 地震によって堤防の強度も低下しているため、 水圧に耐えきれずに決壊することがあります。 大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷し ている場合には、その後の余震で決壊すること もあり得るので注意が必要です。



✓ ハザードマップの作成条件

ため池が満水状態のときを想定しており、貯められている水が決壊 によって一気に流れ出す状況を想定しています。

決壊によって流れ出す水がなくなるまで、 時系列のシミュレーションを 実施しており、地図面の想定される浸水深は、時々刻々と流れ込 む水の最大の水深を示しています。



避難に関する情報

各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは 限りません。状況が急変することもあります。

避難情報等

早期注意情報

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル

警戒レベル

洪水注意報 大雨注意報等

避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル

避難準備・高齢者等避難開始

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、 障害のある方、乳幼児等) とその支 援者は避難をしましょう。その他の人は、 避難の準備を整えましょう。

警戒レベル

等は避難

避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて促す場合等に発令

速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と 思われる場合は、近くの安全な場所 や自宅内のより安全な場所に避難し ましょう。

警戒レベル

災害発生情報

災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令

・既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりま しょう。

【ため池決壊に関する問い合わせ先】 矢板市 経済建設部 農林課 T E L: 0287-43-6210

【土砂災害に関する問い合わせ先】 矢板市 市民生活部 くらし安全環境課 T E L: 0287-43-1114

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、 国や都道県が出す防災気象情報を、5段階に整理しました。

情報です。

☑ 防災気象情報

これらは、住民が自主的に避

難行動をとるために参考とする

警戒レベル相当情報(例

▲ 警戒レベル3相当情報

🛕 🛕 警戒レベル 4 相当情報

• 土砂災害警戒情報 等

⚠️ 警戒レベル5相当情報

都道府県が発表)

等

(国土交通省、 気象庁、

• 氾濫警戒情報

· 氾濫危険情報

• 氾濫発生情報

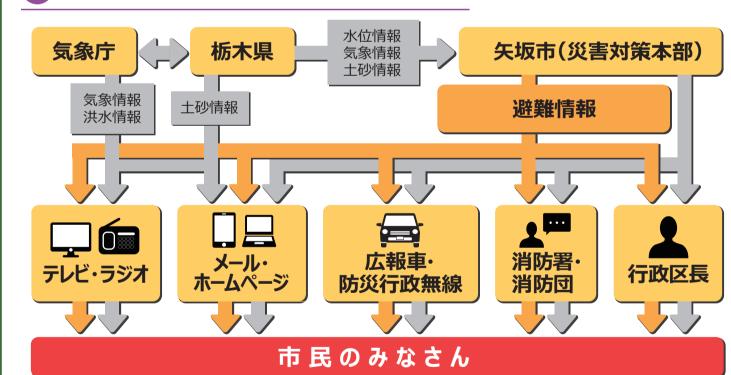
• 大雨特別警報

• 洪水警報

危険性

情報伝達 と 情報収集

🕜 情報伝達の経路



🕜 情報収集

テレビで情報確認

テレビの d ボタンの使い方



災害情報が 確認できます

Q,

①リモコンのdボタンを押す ②「防災・生活情報」を選択する

矢坂市メール配信サービス

災害時に矢坂市から避難情報等を 配信します

登録方法

2次元コードを読み取り、空メール Fregist@mobile.city.yaita.tochigi.jp J を送信



インターネットで調べる

時間大雨予報、洪水警

報の危険度分布、台風

情報、地震情報など

気象庁 注意報

気象庁

気象注意報・警報・特別警報、短

川の防災情報 カメラ画像、河川の観測水位、

水位予測など



防災情報提供センタ-

リアルタイム雨量、リアルタイム レーダーなど



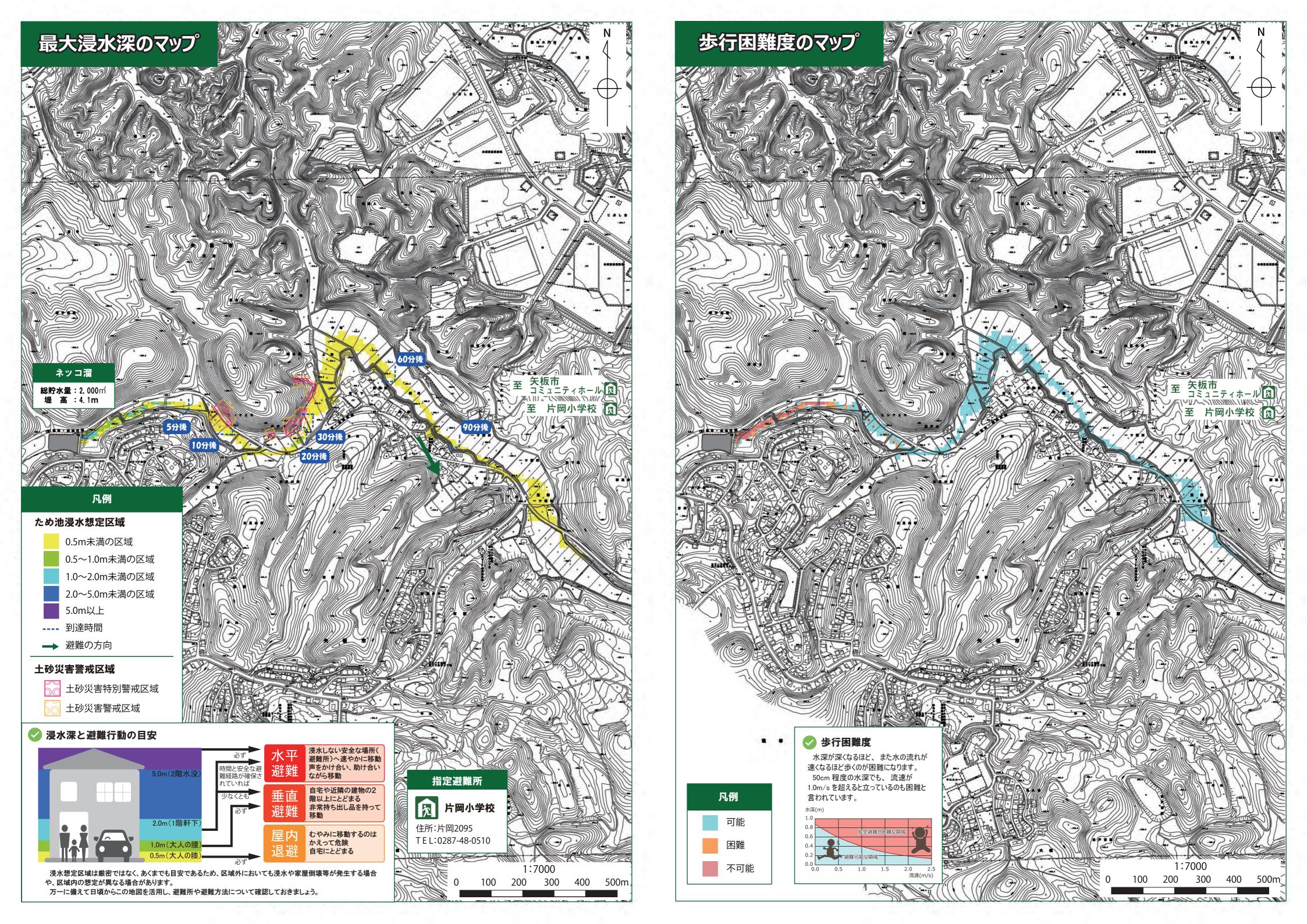
防災情報提供



川の防災

Qr

Qr





避難に関する情報

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、 国や都道県が出す防災気象情報を、5段階に整理しました。

情報です。

☑ 防災気象情報

これらは、住民が自主的に避

難行動をとるために参考とする

警戒レベル相当情報(

(国土交通省、 気象庁、

• 氾濫警戒情報

· 氾濫危険情報

• 洪水警報

▲ 警戒レベル3相当情報

🛕 🛕 警戒レベル 4 相当情報

• 土砂災害警戒情報 等

⚠️ 警戒レベル5相当情報

都道府県が発表)

等

避難情報等

各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは 限りません。状況が急変することもあります。

早期注意情報

警戒レベル

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル

洪水注意報 大雨注意報等

避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。

警戒レベル

避難準備・高齢者等避難開始

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、 障害のある方、乳幼児等) とその支 援者は避難をしましょう。その他の人は、 避難の準備を整えましょう。

警戒レベル

等は避難

避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて促す場合等に発令

速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と 思われる場合は、近くの安全な場所 や自宅内のより安全な場所に避難し ましょう。

警戒レベル

災害発生情報

災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令

・既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりま しょう。

• 氾濫発生情報

• 大雨特別警報

危険性

【ため池決壊に関する問い合わせ先】 矢板市 経済建設部 農林課 T E L: 0287-43-6210

【土砂災害に関する問い合わせ先】 矢板市 市民生活部 くらし安全環境課 T E L: 0287-43-1114

ため池の決壊

☑ため池決壊の要因

■大雨のとき





台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上 昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、 亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険 性が高まります。また、流木などがため池の洪 水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、 堤防から越水してしまいます。

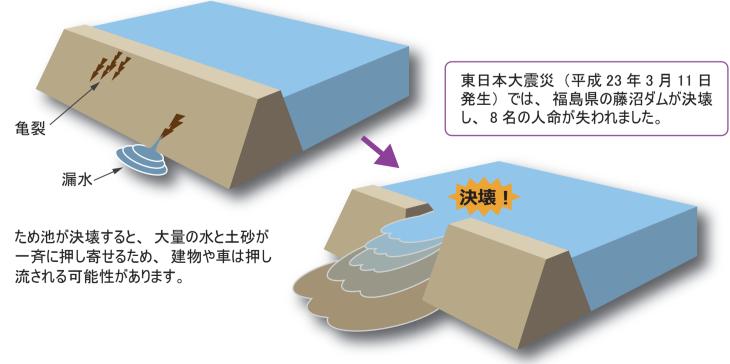
堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食さ れ、決壊に至る危険性がさらに増加します。

■地震のとき





大地震が発生すると、堤防は異常な力を受 けて亀裂や沈下が発生します。 地震によって堤防の強度も低下しているため、 水圧に耐えきれずに決壊することがあります。 大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷し ている場合には、その後の余震で決壊すること もあり得るので注意が必要です。



✓ ハザードマップの作成条件

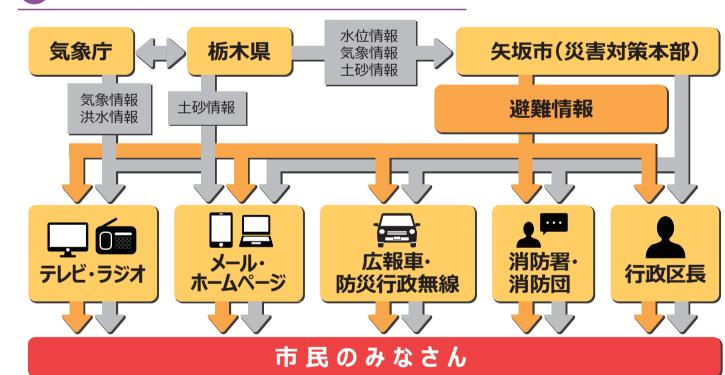
ため池が満水状態のときを想定しており、貯められている水が決壊 によって一気に流れ出す状況を想定しています。

決壊によって流れ出す水がなくなるまで、 時系列のシミュレーションを 実施しており、地図面の想定される浸水深は、時々刻々と流れ込 む水の最大の水深を示しています。



情報伝達 と 情報収集

🕜 情報伝達の経路



🕜 情報収集

テレビで情報確認

テレビの d ボタンの使い方





①リモコンのdボタンを押す ②「防災・生活情報」を選択する

矢坂市メール配信サービス

災害時に矢坂市から避難情報等を 配信します

登録方法

2次元コードを読み取り、空メール Fregist@mobile.city.yaita.tochigi.jp J を送信



インターネットで調べる

気象庁

気象注意報・警報・特別警報、短 時間大雨予報、洪水警 報の危険度分布、台風

気象庁 注意報

情報、地震情報など

Q,

カメラ画像、河川の観測水位、

川の防災情報

水位予測など

川の防災



Qr

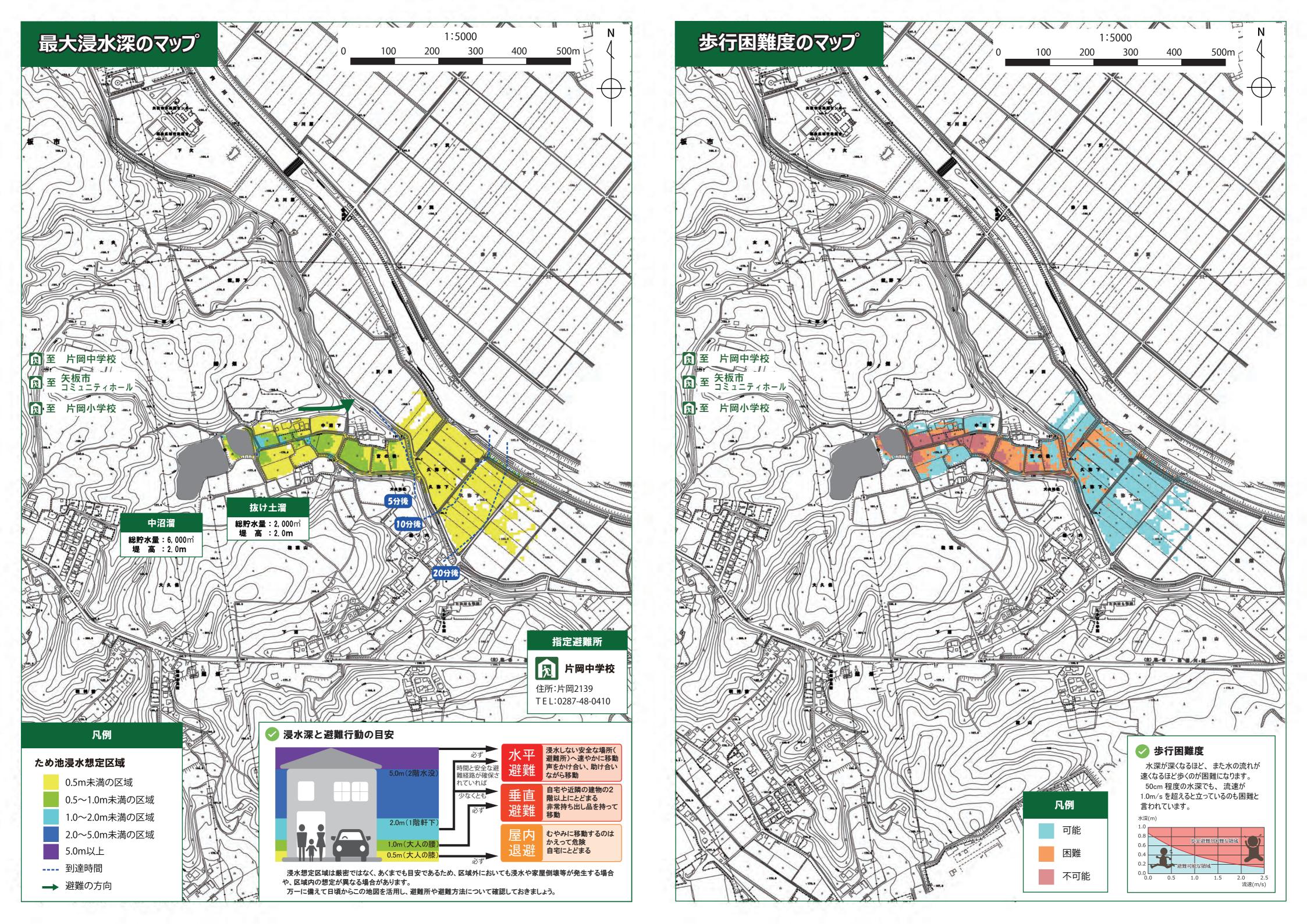
防災情報提供センタ-

リアルタイム雨量、リアルタイム レーダーなど



防災情報提供







避難に関する情報

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、 国や都道県が出す防災気象情報を、5段階に整理しました。

❷ 避難情報等

各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは 限りません。 状況が急変することもあります。

早期注意情報

警戒レベル

災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル

洪水注意報 大雨注意報等

・避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。

<u>↑</u> 警戒レベル

避難準備・高齢者等避難開始

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、 障害のある方、乳幼児等)とその支 援者は避難をしましょう。その他の人は、 避難の準備を整えましょう。

等は避難

避難勧告 避難指示 (緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて促す場合等に発令

・速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と 思われる場合は、近くの安全な場所 や自宅内のより安全な場所に避難し ましょう。

▲ ▲ ▲ 警戒レベル

災害発生情報

災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令

・既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりま しょう。

る状況です。

◇ 防災気象情報

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする



警戒レベル相当情報(例

(国土交通省、 気象庁、 都道府県が発表)

▲ 警戒レベル 3 相当情報

等

- 氾濫警戒情報

危険性

• 洪水警報

- 氾濫危険情報
- 土砂災害警戒情報 等

↑↑ 警戒レベル5相当情報

- 氾濫発生情報
- 大雨特別警報

【土砂災害に関する問い合わせ先】 矢板市市民生活部くらし安全環境課 TEL: 0287-43-1114

ため池の決壊

☑ため池決壊の要因

■大雨のとき





台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上 昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、 亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険 性が高まります。また、流木などがため池の洪 水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、 堤防から越水してしまいます。

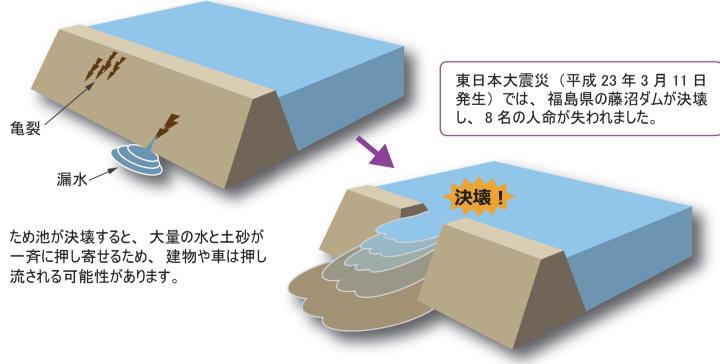
堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食され、決壊に至る危険性がさらに増加します。

■地震のとき





大地震が発生すると、堤防は異常な力を受けて亀裂や沈下が発生します。 地震によって堤防の強度も低下しているため、 水圧に耐えきれずに決壊することがあります。 大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷している場合には、その後の余震で決壊すること もあり得るので注意が必要です。



☑ ハザードマップの作成条件

ため池が満水状態のときを想定しており、 貯められている水が決壊 によって一気に流れ出す状況を想定しています。

決壊によって流れ出す水がなくなるまで、 時系列のシミュレーションを 実施しており、 地図面の想定される浸水深は、 時々刻々と流れ込む水の最大の水深を示しています。



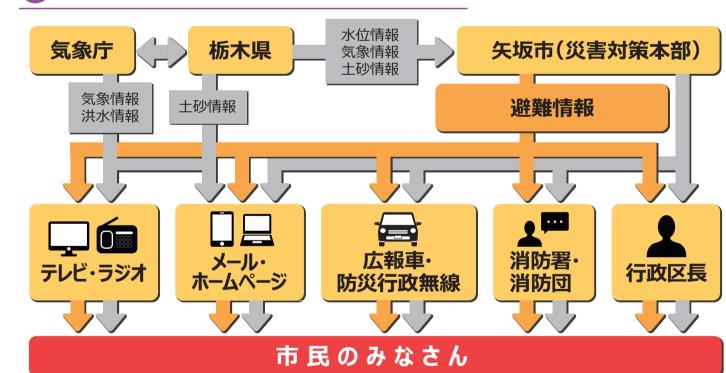
情報伝達 と 情報収集

【ため池決壊に関する問い合わせ先】

❷ 情報伝達の経路

矢板市 経済建設部 農林課

T E L: 0287-43-6210



🕜 情報収集

テレビで情報確認

テレビの d ボタンの使い方





Q,

①リモコンのdボタンを押す ②「防災・生活情報」を選択する

矢坂市メール配信サービス

災害時に矢坂市から避難情報等を 配信します

登録方法

2次元コードを読み取り、空メール 「regist@mobile.city.yaita.tochigi.jp」 を送信



インターネットで調べる

気象庁

気象注意報・警報・特別警報、短時間大雨予報、洪水警報の危険度分布、台風情報、地震情報など

カメラ画像、河川の観測水位、

川の防災

カメラ画像、河川の観測水水位予測など

川の防災情報



on-var.

ar

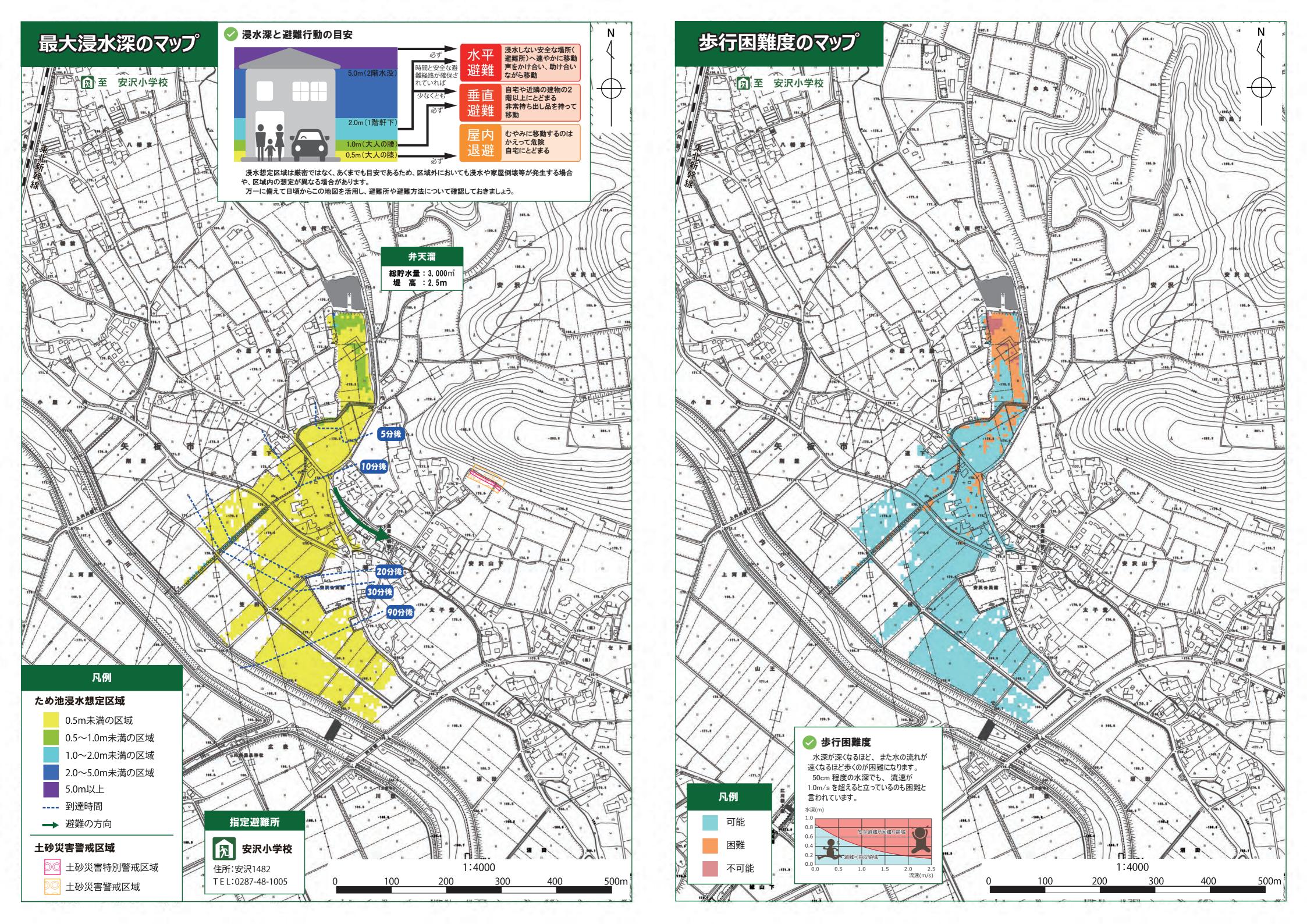


防災情報提供

レーダーなど

防災情報提供センタ-

リアルタイム雨量、リアルタイム



令和3年4月16日(金)発表・提供

件 名 矢板市文化体育複合施設整備基本計画の概要について

(説明文)

令和2年度に策定した矢板市文化体育複合施設整備基本計画の概要を公表する。

1 目的(趣旨)

令和元年10月の台風19号により被災した矢板市文化会館及び矢板公民館と 老朽化が著しい市体育館を複合化し、文化とスポーツを融合させた地域活性化を図 る交流拠点として、また市民の安全・安心を確保する防災拠点としての機能を Society5.0 に対応する未来技術で結ぶ新たな施設整備を目的とする。

2 計画内容

基本計画は、文化会館、公民館、体育館の現状及び課題の整理、複合化のあり方及び施設の基本的な考え方、具体的な施設の機能、規模、建設場所、周辺環境への影響、敷地利用、建築計画等の整備方針、PFI等の民間活力導入手法でスクリーニングした事業計画で構成される。

3 計画策定期間

令和2年8月17日~令和3年3月19日

※提供資料の有無:有 (別添のとおり)・無

担当	担当課・担当名 国体・スポーツ局					
担	当	者	名	大澤英勝		
電	話	番	号	0287-43-6218 (直)	内線電話番号	

矢板市文化体育複合施設整備基本計画 概要版

令和3年3月





矢板市文化体育複合施設整備基本計画概要版



令和3年3月

■文化体育複合施設のあり方

施設のあり方を検討するうえでは、市によるスポーツツーリズムの推進や、市民の健康づくり、 学校教育のデジタル化の推進といった取り組みに加え、新型コロナウイルス感染症を背景とした 社会変革や、デジタル技術が現実社会と高度に融合した新しい社会である Society5.0 の実現とい った社会情勢を踏まえ、市の持続的な発展を目指すため、必要な技術を取り入れた新しい施設を 目指すものとします。

整備コンセプトの方針を基に、以下の3つの拠点づくりを整備コンセプトとして掲げ、コンセプトに対応した8つの整備方針に対する考え方を示し、市民に親しまれる施設とします。

整備コンセプト

~ 文化とスポーツを融合したまちづくりの推進~ 賑わいとふれあいの文化・スポーツ複合拠点の形成



整備方針1:文化とスポーツの複合拠点

整備方針2:スポーツツーリズムの推進に連携対応

整備方針3:市中心部の賑わいを創出

①文化・スポーツを軸にしたまち なか交流拠点

多機能型アリーナの整備

②市民の生涯スポーツ・健康 づくり拠点 ③安心・安全な地域防災 拠点

整備方針4:交流・イベント活動の活発化

整備方針5:誰もがスポーツを楽しめる場

整備方針6:公民館の再編・集約化

整備方針7:人々が安心して避難できる場の確保

整備方針8:防災拠点として必要な機能・施設

■目標とする施設の要件

検討のポイントを踏まえ、4つの目標を以下に掲げます。

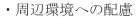
① 人や環境にやさしい施設

主な検討のポイント

矢板市文化体育複合施設のあり方

- ・現在の公共施設では、バリアフリートイレ、授乳室など、近年整備された施設に備えられている設備が十分ではありません。こうした課題に対応することで、利用者が快適な環境で、様々な活動を行うことができるようバリアフリーやユニバーサルデザインの観点から検討します。
- ・施設は、様々な目的を持つ利用者が一つの建物を利用するため、施設内の動線を わかりやすいものとしながら、誰もが安心して使いやすい施設となるよう検討し ます。
- ・自然エネルギーの活用や省エネルギー機器の採用は、通常の建設費用にプラスと なるものです。環境面からの必要性のみならず、施設の管理運営面からの必要性 も検討します。
- ・施設は、周辺の町並みとの調和、良好な景観形成に配慮した計画とします。
- ・建物ボリュームによる圧迫感の軽減や日影の検討など、複合施設が周辺地域へ与 える影響についても十分に配慮した計画とします。

ユニバーサル デザインの導入



② 市民の安全・安心を支える防災拠点として、高い耐震性能、強く、丈夫な施設

主な検討のポイント

- 避難所機能
- ・地域の防災中枢 機能



矢板市文化体育複合施設のあり方

- ・施設は、地域防災の拠点施設となります。従って、建物は、耐震性等、指定避難所 としての条件を満たす構造計画を検討するとともに、施設内の一部の部屋が避難 所となることを想定し、配置や仕様を検討します。
- ・関東・東北豪雨を念頭に、大規模な水害時にも機能を失うことがないよう、災害 対策活動拠点に必要な設備の導入及び設置場所を検討します。

③ 多彩な交流ができる地域の拠点となる施設

主な検討のポイント

- ・市民交流の拠点
- 市民活動の拠点
- ・地域の活性化

矢板市文化体育複合施設のあり方

- ・これまで行われてきた地域団体の様々な活動を継続できるよう検討します。
- ・施設の集約化は、これまで別々の施設を活動拠点としてきた住民や団体が一つの 施設内で活動するという新たな環境をつくることから、この環境を活かして、多 くの人が集い、多くの情報が交換・発信され、多くの活動が生まれ「新たな活力を 創出する場」となるよう検討します。

④ 経済性とのバランスを考慮した施設

主な検討のポイント

- 建設事業費の縮減
- ・維持管理費の縮減

矢板市文化体育複合施設のあり方

- ・事業費を抑制するため、適正な規模とし、メリハリのある仕上げや仕様とします。
- ・コストバランスを考慮し、各々の機能に合わせた、建物構造・仕様とします。
- ・省エネ機器の採用、可能な限りメンテナンスフリー素材を採用します。



■整備方針

□周辺環境への影響と配慮

景観配慮計画としては、色彩や材料の選定、庇等を設け住宅地内のスケールに合わせる工夫等により、周辺と調和し馴染む計画とします。

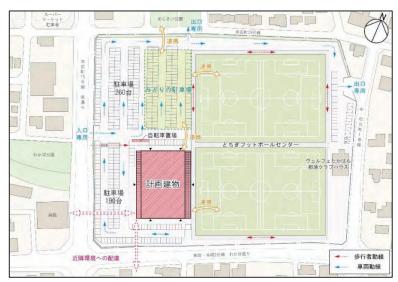
また、建物ボリュームによる圧迫感の軽減、騒音の抑制、日照障害・光害の抑制、電波障害に対する対応等により複合施設が周辺地域へ与える影響についても十分に配慮した計画とします。

風や熱に対策が必要な舗装面等については、近年の気象・気候への対応が可能な計画とします。

□敷地利用計画

まちづくりの拠点形成などの観点から「とちぎフットボールセンター」の未利用地に計画された経緯を踏まえ、中心市街地内という立地を活かし、複合施設を中心として周辺機能と連携することで、相乗効果や利便性の向上を図る計画とします。





① 周辺環境への配慮

視線や騒音に配慮して、できるだけ離れた位置に施設を計画します。砂塵が発生しにくい舗装や植栽(芝)を検討します。また、舗装などからの熱風を可能な限り減少するよう検討します。

② 文化・スポーツの拠点

駐車場の一部は緑地とし、イベント時や災害時には駐車場、大会時には選手がアップを行うサブグラウンド等として利用可能な計画とします。また、公道に出ずに安心して利用可能なランニングコースを整備する計画とします。

計画施設は、あじさい公園、敷地内の緑地やランニングコース、隣接するフットボールセンターとの連携が可能な位置とし、フットボールセンター見学者の利便性向上等の為、屋外にトイレや休憩スペースを設ける計画とします。

③ 防災機能

アリーナ・多機能ホールや緑地・フットボールセンターにより、安心して避難が可能な屋内外の場を確保します。

水・食料やトイレの確保等のために必要な対策を行う他、物資の需給や避難生活に必要な場を 計画します。

④ バリアフリー・ユニバーサルデザイン

車椅子使用者用駐車スペースの必要台数を確保し、誰もがわかりやすいサイン計画・色彩計画 とします。また、計画施設や敷地内に新設する緑地への動線内において、最大限段差のない計画 とします。

□建築計画

建築計画は、大きくは、意匠、耐震・構造、設備(電気・機械)の分野があり、意匠計画は、建築物の外観、内観だけでなく、動線計画、利便性、周辺環境に配慮します。耐震・構造計画は、建物の構造的な安全性を重視します。設備計画は、環境やエネルギー効率に配慮し、建物内の環境を良好に保つ機器の導入を図ります。

各計画は整備方針の規模、建設費を重視しながら、可能な限りコストを縮減することとし、周辺環境及び防災について最大限考慮したものとします。

① 意匠計画

コストバランスの取れたシンプルな矩形で、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した わかりやすい利用者動線としつつ、市民ニーズや時代の変化に柔軟に対応できるフレキシブル な施設とします。

② 耐震・構造計画

コストバランスを考慮しつつ、耐久性・耐震性の高い建物とします。

尚、耐震安全性の分類と目標は、避難所として位置づけられた施設の為、構造体Ⅱ類、建築非構造部材A類、建築設備乙類となります。

③ ゾーニング計画

文化活動とスポーツ活動を共用する施設のゾーニングの課題は、バスケットボールコート 2 面分を有する多機能ホールが、文化活動又はスポーツ活動の専用となることです。

解決策として、文化活動を優先して行う多機能ホールとスポーツ活動を優先して行うアリーナに分割し、お互いが干渉しない施設とすることで、複合施設として最大限の利用効果を目指すものとします。

ゾーニングにおける検討のポイント	各機能におり	各機能における推定面積と要求諸室		
・誰もが使いやすい施設となるように明確なゾー	機能	推定面積	諸室	
ニングとします。	多機能ホール	約 850~900 ㎡	ステージ、控室、放送室等	
・出入口近くの視認性が高い位置に管理室を配置します。	アリーナ	約 1150~1200 ㎡	トレーニング室、更衣室、 倉庫等	
・騒音や振動を考慮し、多機能ホールとアリーナの 間に緩衝帯を設けます。	コミュニティ	約 350~400 m²	会議室、研修室、調理室等	
・多機能ホールとアリーナは明確に分け、スムーズ	防災	約 50 ㎡程度	備蓄倉庫	
な動線計画とします。 ・開館時間帯の異なる空間におけるセキュリティ 区画に配慮します。	管理・共用	約 750~800 ㎡	管理室、エントランスホール、トイレ、廊下、階段、エレベーター等	

想定されるゾーニング案の概要

【案1】基本ゾーニング案

矢板市文化会館、矢板市体育館及び矢板公民館を複合化する施設の機能及び諸室全てを備えた 本計画の基本となるゾーニング案です。

延床面積は約3,100 ㎡、概算工事費約17億円と基本方針を大きく上回り、市の財政計画の見直 しが不可欠です。

【案2】基本方針案

基本方針の延床面積約2,900 m²に適合することを優先する案です。

ただし、面積の都合上、全ての機能及び諸室を備えることは難しく、ステージを可動式とする必要があるほか、後述する「諸室の優先度検討」において優先度の低いものについては整備を見送る必要があります。

延床面積は約2,900 ㎡、概算工事費は約15億円となり、基本方針に対し、面積は合致するものの、概算工事費は多機能ホールとアリーナに分割したことで増額となります。

【案3】民間活力導入検討案

民間活力導入のため、収益性のある機能を優先する案です。

民間企業へのヒアリング調査の結果によるとジム、スタジオの需要が高く 300 ㎡程度の規模が 求められていることから、トレーニング室を重視したゾーニングとします。

ただし、ステージを可動式とし、コミュニティ機能は比較的収益性の高い会議室・研修室等のみとする必要があります。

延床面積は約3,300 ㎡、概算工事費は民間による削減率を含め、約16.8 億円となります。

ゾーニング案の比較検討結果

- 「【案1】基本ゾーニング案」のように、矢板市文化会館、矢板市体育館及び矢板公民館を複合化する施設の機能及び諸室全てを備えると、延床面積及び概算事業費が基本方針を大きく上回ります。このことから、基本方針の延床面積 2,900 ㎡に現施設の機能及び諸室全てを備えることは難しく、優先度を検討した上での選択が必要不可欠です。
- 「【案3】民間活力導入検討案」は、延床面積及び概算工事費で比較検討すべきものではないことから、第4章の「民間活力導入手法の検討」の結果をもとに判断することとします。

したがって、延床面積が当初の基本方針に合致しており、諸室の優先度検討を基にコストバランスの取れた計画となる「【案2】基本方針案」を整備方針とします。

諸室の優先度検討

コスト縮減の観点から、諸室の優先度を検討する必要があります。主な検討対象となる室について、既存施設の状況や稼働率等を以下の表に整理しました。

	トレーニングルーム	会議室	研修室等の小規模会議室	調理室	備蓄倉庫
既存矢板公民館	無し	大会議室(定員100名程度)153㎡	研修室1 (定員15名程度) 36㎡ 研修室2 (定員15名程度) 36㎡ 団体事務室 (定員20名程度) 48㎡ 和室 (定員30名程度) 36㎡	調理室(定員35名程度)75㎡	無し
	無し	有り	有り	有り	無し
市内の同機能施設	・農業者トレーニングセンター (87㎡)	定員100名程度の会議室を有する施設 (本施設の会議室の想定定員は50 名程度) ・生涯学習館 ・泉公民館(137㎡) ・片岡公民館(116㎡)	・生涯学習館 ・泉公民館 (54㎡、40㎡、26㎡) ・片岡公民館 (60㎡、31㎡、28㎡) ・農村環境改善センター (87㎡、 59㎡)	・泉公民館(40㎡) ・片岡公民館(30㎡) ・農村環境改善センター(65㎡)	-
既存稼働率	=	高	中	低	=
(矢板公民館 H28~R1の平均)	_	53.5	29.8 (4 室の稼働率の平均)	25.2	_
民間活力導入	©	0	0	Δ	_
	0	0	0	Δ	Δ
	代替施設が少なく、本施設との関連 性も高い。	代替施設はあるが、既存の稼働率が 高く、ニーズが多い。	代替施設はあるが、既存の稼働率が 高く、ニーズが多い。 現在の室数でもそれなりの需要があ るため、全てなくすと供給不足の懸 念がある。	代替施設もあり、既存の稼働率が低く、ニーズが少ない。	本施設との関連性及び必要性は高い が、コストを考慮すると、別で整備 するのが妥当といえる。

%「©」の諸室は必須とし、「 \bigcirc 」の諸室はプランに応じて選択するものとします。「 \triangle 」の諸室については、「整備を見送る」もしくは「別で整備する」ことを基本とします。

・トレーニングルーム

規模の想定	最低限 150 m²程度
考え方	代替施設が市内では1つしかないことから、最低限農業者トレーニングセンターよりも規模を拡充することとします。 民間活力を導入する場合には、トレーニングマシンのみならず、スタジオ等の面積も確保することで収益機会の向上が見込まれることから、300 ㎡以上を必須と考えます。

• 会議室

規模の想定	60~90 ㎡程度
考え方	既存の公民館大会議室は定員 100 名程度であるが、近年の平均利用人数が 15 から 20 名程度であること、代替施設もあることから、定員 50 名程度を満たすものとします。

研修室等の小規模会議室

規模の想定	30~50 ㎡程度×3 室
考え方	既存の公民館の同規模機能は4室です。3室に減らした場合の想定稼働率は約40%、2室に減らした場合の想定稼働率約60%となります。
ラ ん刀	金紹を持たせるため、3 室程度は確保することとします。

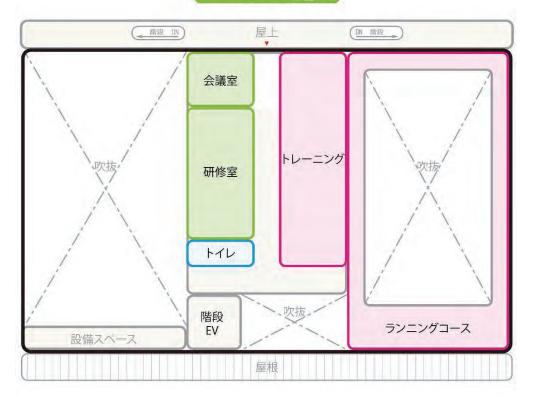
• 備蓄倉庫

規模の想定	50 m²程度
考え方	約 1250 人(バスケットボールコート 2 面+サッカーボールコート 1/2 面を居住エリアとし、4 ㎡/人としたとき)が 3 日間 の避難生活を行うと仮定した面積です。

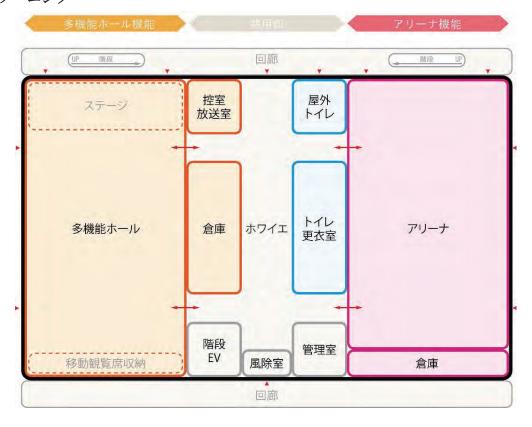
基本方針案のゾーニングイメージ

2階ゾーニング

コミュニティ機能

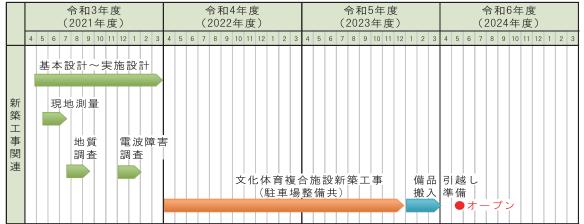


1階ゾーニング



■事業スケジュール

次に示す事業スケジュールは、2023年度に完了する計画として想定した最短のものです。



※工事期間については、諸条件(資材納期の長期化など)により変更になる可能性があります。

■民間活力導入手法の検討

近年、我が国においては、厳しい財政状況の中で、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するために、民間企業、NPO、住民等と公共が連携・協働して最も有効で効率的なサービスの提供を行う、いわゆるPPP (Public Private Partnership) ※¹の活用が求められています。

整備、管理運営のそれぞれを行政・民間のいずれが主体となり行うかにより、事業手法を公設公営、公設民営、民設公営、民設民営に区分・整理し評価します。

□総合評価

これまでの検討を踏まえた事業方式毎の評価は下記の通りです。

整備案及び事業方式の決定においては、文化会館建替えの経緯、矢板市の財政状況等を踏まえ、下記の事項を重視します。

- ① 総事業費(ライフサイクルコスト)が低く抑えられること
- ② 財政負担の平準化が図れること
- ③ 竣工までのスケジュールが短いプランであること

検討の結果、総事業費が低く抑えられ、起債によりある程度の財政負担平準化が図られ、事業スケジュールの短い<u>「基本方針案・公設公営(公設民営)方式」を第一候補</u>とします。ただ、基本方針案は地方創生拠点整備交付金の活用が前提となります。

地方創生拠点整備交付金が下りない場合は学校施設環境改善交付金を活用する残りの2案で検討します。その場合は交付金・起債の活用できる額が少なく、公設公営方式では財政負担の平準化が図れないため、PFI 又はリース方式を検討します。そのため、より民間の参画可能性の高い「民間活力導入検討案」を第二候補とします。PFI とリース方式では、より VFM が出て総事業費が抑えられる PFI 方式を優先して検討します。

【案1】基本ゾーニング案

	公設公営(公設民営)方式	PFI方式	リース方式
ライフサイクルコスト	2,824,151千円	2,672,012千円	2,899,296円
VFM	_	5.4%	-2.7%
財政負担の平準化	× 起債が使用できない場合の建 設費負担が重い	平準化可能	平準化可能
事業スケジュール	○	× 事業者選定に1年超の期間を 要する	△ PFI方式に比べて事業者選定 期間は短い
公募手続き	庁内で対応可能	× 公募資料、手続等多く、アド バイザーが必要	△ PFI方式に比べて公募資料は 簡易的
民間企業の参画可能性 (事業者ヒアリング)	_	× 事業費が多いことから建設企業の参画可能性はあるが、トレーニングセンター規模が小さいことから、運営企業の参画可能性は低い	リース事業者の参画意欲有り

【案2】基本方針案 第一候補

	公設公営(公設民営)方式	PFI方式	リース方式
ライフサイクルコスト	2,269,505千円	2,210,839千円	2,975,071千円
VFM	_	2.6%	-31.1%
財政負担の平準化	△ 交付金及び起債で施設整備費 の大部分を賄える	平準化可能	平準化可能
事業スケジュール	従来通りの方法で入札を行う	× 事業者選定に1年超の期間を 要する	△ PFI方式に比べて事業者選定 期間は短い
公募手続き	庁内で対応可能	× 公募資料、手続等多く、アド バイザーが必要	△ PFI方式に比べて公募資料は 簡易的
民間企業の参画可能性 (事業者ヒアリング)	_	× 事業費が少なく、トレーニン グセンターの規模も小さいこ とから、参画可能性は低い	リース事業者の参画意欲有り

【案3】民間活力導入検討案

第二候補

	公設公営(公設民営)方式	PFI方式	リース方式
ライフサイクルコスト	2,804,444千円	2,654,883千円	2,880,106千円
VFM	_	5.3%	-2.7%
財政負担の平準化	× 起債が使用できない場合の建 設費負担が重い	平準化可能	平準化可能
事業スケジュール	従来通りの方法で入札を行う	× 事業者選定に1年超の期間を 要する	△ PFI方式に比べて事業者選定 期間は短い
公募手続き	庁内で対応可能	× 公募資料、手続等多く、アド バイザーが必要	△ PFI方式に比べて公募資料は 簡易的
民間企業の参画可能性 (事業者ヒアリング)	_	△ 事業費が多く、トレーニング センターの規模も大きいこと から、参画可能性はある	リース事業者の参画意欲有り

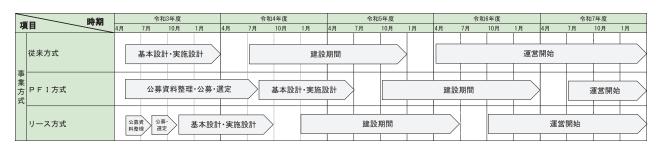
□今後の課題

第一候補の「基本方針案・公設公営(公設民営)方式」を採用した場合は、基本構造の課題や 導入機能の選択など、基本設計において更なる検討を要します。併せて、指定管理者制度を含め た運営方法の検討が必要となります。

第二候補の「民間活力導入検討案・PFI 方式」を採用した場合は、アドバイザリーのコンサル会社選定、事業への参画可能性のある企業との意見交換を早々に行う必要があります。特に運営業務について要件整理を行う必要があり、運営企業の参画が見込めない場合は、リース方式も含めて検討を行う必要があります。

■事業方式毎のスケジュールイメージ

事業方式毎のスケジュールイメージは下記の通りです。庁内調整や公募資料作成状況により変わる可能性があります。





令和3年4月16日(金)発表·提供

件 名 令和3年「はたちのつどい」開催について

1 内容

新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった令和3年1月10日(日)の矢板市成人式代替事業として「はたちのつどい」を開催する。

主催者あいさつ、新成人の誓いのことば、記念撮影とし、来賓の招待は行わない。

2 日時 令和3年8月14日(土)

対象者 (卒業時)	開始時間	場所	
矢板中学校			
矢板東高等学校附属中学校	9:30	矢板中学校体育館	
市外の中学校			
泉中学校		泉中学校体育館	
片岡中学校		片岡中学校体育館	

- 3 対象者 平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方
- 4 その他 対象の方には6月中旬に案内状を発送する。 新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合がある。 詳細は決まり次第、市ホームページ・成人式サイトにより周知する。
- 5 問い合わせ 市生涯学習課 TEL0287 43 6218 FAX0287 43 4436

※提供資料の有無:有(別添のとおり)・無

担当	当課・	担当	名	矢板市教育委員会 生涯	E学習課 まなび	担当
担	当	者	名	菊地 明子		
電	話	番	号	0287-43-6218	内線電話番号	471

3年 4月 16日(金)発表・提供

件 名

国体開催記念イベント「栃木ゴールデンブレーブス野球教室」の開催について

(説明文)

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体において、正式競技として矢板市で実施する軟式野球に関してイベントを下記のとおり開催するため報告します。

1 目的(趣旨)

軟式野球の会場である矢板運動公園野球場で開催することで、国体への機運醸成と市内競技者の競技力向上を図る。

2 日時

令和3年4月25日(日)

当日同会場で開催される「栃木ゴールデンブレーブス 対 福島レッドホープス の試合 (13:00 開始)終了後

3 場所

矢板運動公園野球場

4 対象者

市野球連盟加盟チームに所属する小学生。50 名先着

- 5 参加費 無料
- 6 主催 いちご一会とちぎ国体矢板市実行委員会
- 7 委託事業者

(株) 栃木県民球団

- 8 協力 矢板市野球連盟
- 9 申込方法等

各所属チームで取りまとめのうえ、市野球連盟に申し込む

※提供資料の有無:有(別添のとおり)・無

担	当課·	担当	4 名	矢板市国体・スポーツ局		
担	当	者	名	星 知華		
電	話	番	号	0287-43-6218	内線電話番号	471.473

令和3年4月16日(金)発表・提供

件 名

スーパーキックベースボール大会2021

~矢板市ニュースポーツ交流会~の開催について

(説明文)

毎年恒例のスーパーキックベースボール大会を今年も開催します。とちぎフット ボールセンターで思いきりプレーする絶好の機会です。奮ってご参加ください。

- 1 期 日 令和3年5月16日(日)
- 2 場 所 とちぎフットボールセンター (矢板市末広町 49-2)
- 3 主 催 矢板市教育委員会
- 4 開催の趣旨 スポーツ・レクリエーションを通して、地域間の親睦及び世代間 の交流を深めるため実施する。
- 5 内 容 (1) スーパーキックベース

監督1名、選手6名以上12名以内(ただし、小学生3名以上 参加。)でチーム編成し、チーム対抗でキックベースを行う。

- (2) チャレンジューナー ニュースポーツの体験コーナーを設ける。
- 6 参加資格 小学生以上の矢板市民とし、居住している地域より出場する。
- 7 参加料(1) スーパーキックベース 1チーム 2,000円
 - (2) チャレンジコーナー 無料
- 8 参加申込 令和3年4月23日(金)までに、出場選手名簿(ホームページ よりダウンロード可)を教育委員会国体・スポーツ局へ提出。

※提供資料の有無:有(別添のとおり)(無)

担当課・グループ				国体・スポーツ局		
担	当	者	名	大谷津 崇人		
電	話	番	号	0287-43-6218	内線電話番号	473